

特 許 協 力 条 約

PCT

REC'D 20 JAN 2005

WIPO

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 M03-H-283CT1	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/13092	国際出願日 (日.月.年) 10.10.2003	優先日 (日.月.年) 10.10.2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl. H04Q7/38		
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		

- この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
a ☒ 附属書類は全部で 8 ページである。
☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
☐ 第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
b ☐ 電子媒体は全部で (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第802号参照)

4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
- ☐ 第II欄 優先権
- ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
- ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
- ☐ 第VII欄 国際出願の不備
- ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 05.03.2004	国際予備審査報告を作成した日 05.01.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員)	5 J 8943
	佐藤 聡史 電話番号 03-3581-1101 内線 3534	

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2004年1月)

BEST AVAILABLE COPY

第 I 欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

- ☐ この報告は、_____ 語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。
- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)にいう国際調査
- ☐ PCT規則12.4にいう国際公開
- ☐ PCT規則55.2又は55.3にいう国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1-38	ページ、	出願時に提出されたもの	
第 _____	ページ*		付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ*		付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 _____	項、	出願時に提出されたもの	
第 _____	項*	PCT19条の規定に基づき補正されたもの	
第 8-10, 15, 21, 22, 24-27	項*	20.08.2004	付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	項*		付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-31	ページ/図、	出願時に提出されたもの	
第 _____	ページ/図*		付けで国際予備審査機関が受理したもの
第 _____	ページ/図*		付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル
配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input checked="" type="checkbox"/> 請求の範囲	第 1-7, 11-14, 16-20, 23	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること)	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)	_____	

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

<input type="checkbox"/> 明細書	第 _____	ページ
<input type="checkbox"/> 請求の範囲	第 _____	項
<input type="checkbox"/> 図面	第 _____	ページ/図
<input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること)	_____	
<input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること)	_____	

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	8-10, 15, 21, 22, 24-27	有 無
	請求の範囲		
進歩性(IS)	請求の範囲	8-10, 15, 21, 22, 24-27	有 無
	請求の範囲		
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	8-10, 15, 21, 22, 24-27	有 無
	請求の範囲		

2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

文献1: JP 2001-014297 A (ソニー株式会社) 2001.01.19
文献2: JP 2002-267487 A (シャープ株式会社) 2002.09.18
文献3: JP 2000-028376 A (ビステオン テクノロジーズ エル・エル・シー) 2000.01.28

請求項8-10, 15, 21, 22, 24-27に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1及び2、又は、新たに引用された文献3のいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとっても自明なものでもない。

特に、「移動先または移動経路を」予測するため、「移動体の位置の履歴から得た移動経路を、移動履歴として、ノード間の遷移の形式で、蓄積」し、「ノードの少なくとも1つは、ランドマーク、エリア、または交差点」とする事項に関しては、上記のいずれの文献にも記載されておらず、当業者にとっても自明なものでもない。

請求の範囲

1. (削除)
2. (削除)
3. (削除)
4. (削除)

5. (削除)

6. (削除)

7. (削除)

8. (補正後) 移動体の移動先に関連する情報を取得する情報取得方法であって、

移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として、ノード間の遷移の形式で、蓄積する第1のステップと、

前記移動履歴を検索する際のキーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する第2のステップと、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先または移動経路を、1つ以上予測する第3のステップとを備え、

予測した移動先または移動経路に関連する情報を、取得するものであり、

前記ノードの少なくとも1つは、ランドマーク、エリア、または交差点であることを特徴とする情報取得方法。

9. (補正後) 移動体の移動先に関連する情報を取得する情報取得方法であって、

移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として、ノード間の遷移の形式で、蓄積する第1のステップと、

前記移動履歴を検索する際のキーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する第2のステップと、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先または移動経路を1つ以上予測する第3のステップとを備え、

予測した移動先または移動経路に関連する情報を、取得するものであり、

移動経路の交差点のうち、移動体が過去に2つ以上の方向に移動したことがあるものを、ノードとして定めるステップを備えていることを特徴とする情報取得方法。

10. (補正後) 移動体の移動先に関連する情報を取得する情報取得方法であって、

移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として、移動の開始および終了というセグメントで、蓄積する第1のステップと、

前記移動履歴を検索する際のキーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する第2のステップと、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先または移動経路を1つ以上予測する第3のステップとを備え、

予測した移動先または移動経路に関連する情報を、取得することを特徴とする情報取得方法。

11. (削除)

12. (削除)

13. (削除)

14. (削除)

15. (補正後) 移動体の移動先に関連する情報を提示する情報提示方法であって、

移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として蓄積する第1のステップと、

前記移動履歴を検索する際のキーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する第2のステップと、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先または移動経路を1つ以上予測するとともに、予測確率を求める第3のステップと、

予測した前記移動先について、関連する情報を取得する第4のステップと、

前記第4のステップにおいて取得した情報を基にして、位置と、名称と、当該位置が属するジャンル名との対応関係を表す情報を参照し、前記移動先について、前記第3のステップにおいて求めた予測確率が所定値以上のときは、その名称を、そうでないときは、そのジャンル名を、提示情報として決定する第5のステップとを備え、

決定した提示情報を、提示することを特徴とする情報提示方法。

16. (削除)

17. (削除)

18. (削除)

19. (削除)

20. (削除)

21. (補正後) 移動体の移動先に関連する情報を提示する情報提示方法であって、

移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として蓄積する第1のステップと、

前記移動履歴を検索する際のキーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する第2のステップと、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先または移動経路を1つ以上予測する第3のステップと、

予測した前記移動先について、関連する情報を取得する第4のステップと、

前記第4のステップにおいて取得した情報を基にして、前記移動先についての提示情報を、情報提示を受けるユーザの認知的負荷を考慮して、決定する第5のステップとを備え、

決定した提示情報を、提示することを特徴とする情報提示方法。

22. (補正後) 移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として、ノード間の遷移の形式で、蓄積する履歴蓄積部と、

前記履歴蓄積部に蓄積された移動履歴を検索する際の、キーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する条件決定部と、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先を1つ以上予測する予測部とを備え、

前記予測部によって予測された移動先に関連する情報を、取得するものであり、

前記ノードの少なくとも1つは、ランドマーク、エリア、または交差点であることを特徴とする情報取得装置。

23. (削除)

24. (補正後) 請求項8～10のうちいずれか1項に記載の情報取得方法を、
情報機器およびサーバのうち少なくともいずれか一方が有するコンピュータに、
実行させるためのプログラム。

25. (追加) 移動体の移動先に関連する情報を提示する情報提示方法であって、

移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として蓄積する第1のステップと、

前記移動履歴を検索する際のキーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する第2のステップと、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先または移動経路を1つ以上予測するとともに、予測確率を求める第3のステップと、

予測した前記移動先について、関連する情報を取得する第4のステップと、

前記第4のステップにおいて取得した情報を基にして、位置と、名称と、当該位置が属するジャンル名との対応関係を表す情報を参照し、前記移動先について、前記第3のステップにおいて求めた予測確率に応じて提示情報の詳細度を定め、提示情報を決定する第5のステップとを備え、

決定した提示情報を、提示することを特徴とする情報提示方法。

26. (追加) 移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として、ノード間の遷移の形式で、蓄積する履歴蓄積部と、

前記履歴蓄積部に蓄積された移動履歴を検索する際の、キーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する条件決定部と、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先を1つ以上予測する予測部とを備え、

前記予測部によって予測された移動先に関連する情報を、取得するものであり、かつ、

移動経路の交差点のうち、移動体が過去に2つ以上の方向に移動したことがあるものを、ノードとして定める手段を備えていることを特徴とする情報取得装置。

27. (追加) 移動体の位置情報の履歴から得た移動経路を、移動履歴として、移動の開始および終了というセグメントで、蓄積する履歴蓄積部と、

前記履歴蓄積部に蓄積された移動履歴を検索する際の、キーの種類およびカテゴリーを、検索用条件として、決定する条件決定部と、

前記移動履歴に対して前記検索用条件に従った検索を行い、この検索結果に基づいて、移動体が進行する移動先を1つ以上予測する予測部とを備え、

前記予測部によって予測された移動先に関連する情報を、取得することを特徴とする情報取得装置。